



小牧営業所 業務主任 **金原 真吾**

小牧営業所の金原真吾さんは、2022年10月に南星キャリアックス株式会社へ中途入社し、現在は業務主任として活躍しています。他業種からの転職で、初めは戸惑いも多かったという金原さんに、仕事への向き合い方や今後の目標などを伺いました。

—— **まずは入社のかきつけをお聞かせください。**

前職はホームセンターで働いており、異動が多く全国へ転勤の繰り返しでした。次第に「地元を愛知県で働きたい」という気持ちが大きくなり、思い切って退職。しかし、その後は思うように転職活動が進まず、焦る日々が続きます。アルバイトとしてでも、前職で身につけたフォークリフトの経験を活かせる仕事はないかと求人情報サイトを閲覧しました。そのとき検索結果のトップに出てきたのが、南星キャリアックスの正社員募集の求人。経験を活かせる

だけでなく正社員として働けるため、迷わず応募したのです。

—— **入社されてから、何か心がけていたことはありますか。**

こだわりを持っていたのは挨拶です。中途入社でもあり、周りの人に早く自分を覚えてほしいと思ったため、入社したときから「絶対に相手の顔を見て、自分から先に挨拶をする」と決めていました。地道に行ってきたおかげで、皆さんとフランクに話せるようになりました。今では仕事の話もスムーズにでき、続けてきてよかったと感じています。

—— **業務内容について教えてください。また、仕事で工夫していることはありますか。**

最初は配達ドライバーとして仕事を始め、今は欠員対応で倉庫作業もしています。とにかくわからないことだらけなので、少し

に深め、もつと上へと成長しているように頑張ります。

慣れない仕事に追われていたとき、社員からかけられた「いつもありがとう」の一言が嬉しく、やりがいを感じたそうです。「私も皆さんが快適に働けるような声かけを意識しています」と話してくれた金原さん。今後のさらなる活躍に、ますます期待が高まります。



識しています。

入社後4か月ほどで配送に出た際のこと。道に迷い、先輩3人に何度も電話をかけて説明してもらいましたが、細い道がわかりにくく、やつとの思いで目的地にたどり着きました。その経験から、現在、営業所から配達先までのルートがスマートフォンに表示できる仕組みを計画中です。

例えば「納品先はA」と言われたとき、ベテランのドライバーなら地図とAまでのルートがパッと頭に浮かびますが、新人や外国人だとそうはいきません。もともと納品先の地図データはありましたが、実際に走るルートは出てこない。外国人の場合、検索時に日本語入力するのが難しいこともあります。スマートフォンでQRコードを読み込む方法なら、入力する必要がありません。業務の合間の1〜2時間を使い、2か月ほどかけてコツコツと全納入先のデータを作成。200件近い

でも早く仕事を覚えるよう「1日1つは必ず学びを得る」と、自分に言い聞かせています。

今、特に意識しているのはリフト作業。フォークリフトの操作には自信がりましたが、ホームセンターに商品を陳列するのと、トラックに積み込みをするのでは大違いでした。始めのころはうまくできず、一緒に作業する先輩リフトマンの邪魔になってばかり。息を合わせて効率よくリフト作業をしなくてはならないため、その日の商品量、形、大きさによって先輩がどのように動くかを勉強中です。

—— **これまで、特に力を入れた仕事はどのようなものがありますか。**

他業種にいたからこそ、客観的に物事を見られるのは自分の強みでもあると考え、いつも「今までになかったことをやろう」と意

—— **最後に、今後の目標を教えてください。**

一言で言うなら「なじむ」でしょう。入社してからこれまでの1年ほどは、配送にせよリフト業務にせよ、仕事を覚えるのに一杯で余裕がありませんでした。まずは自分の業務内容をしっかりと覚えて、この営業所に今よりもなじんでいきたい。そして、業務主任として仕事への理解をさら